

どうなる 七栄地区 のみなさま

富里市の中心部を支えている七栄地区。商店・住宅が立ち並ぶ一方で、現在も成長を成し遂げているといえるのだろうか。七栄地区が、安心・安全な、そして更なる成長をし続ける事が、富里市の成長となるのです。

だから
いがらし博文
なんです！

思いと覚悟

いがらし博文^{ひろふみ}は、富里市職員として47歳のときに、「改革」と「実感ある政策」の出来る政治家を目指し退職。その後、秘書として3年間経験。だから、「思い」が違います。「覚悟」が違います。

経 験

いがらし博文^{ひろふみ}は、七栄地区において、道路・排水・開発行為・税等をはじめ、富里インターチェンジ周辺の土地区画整理事業・国道409号の4車線化・都市計画にも携わる。そして、七栄地区の隅々まで何度も歩き、変化を見続けてきている。誰よりも知り尽くしているからこそ、地区の声を即座に受け止め、七栄地区の成長に向け、力が発揮できるのです。

必ず実行！ その1 都市計画

昭和54年に決定された都市計画。第一種低層住居専用地域が大半を占める中、果たして目指すべきまち並みが築かれているのだろうか。そして、成田国際空港との共栄と、市の成長・地区の成長を目指すうえで、現在の都市計画で果たせるのだろうか。都市計画を見直すことにより、更なる有効活用を図るべき。また、守るべき農地・自然は保全すべき。

必ず実行！ その2 防 災

東日本巨大地震の経験で再認識した「災害は、正確で且つスピーディな情報の伝達」。いまの富里市の防災無線は機能を果たしたのか。各戸へ防災無線を設置し、情報伝達の徹底化を図り、市民の安全を守るべき。

必ず実行！ その3 バスの拡充

少子高齢化が進む中で、自家用車の運転が出来なくなったなら…循環バスの駅乗り入れとスクールバスの運行により解消すべき。「駅がない」のではなく「駅がなくとも」といえる交通体系の拡充を図るべき。

必ず実行！ その4 少子高齢化

少子高齢化に関する新規事業者に対し、運転資金補助金を導入する事で、民間の参画の機会の創出と、行政とのタイアップの充実を図るべき。

充電完了！
ちから みなぎ
力が漲る50歳



いがらし博文^{ひろふみ}

